

# 萎凋で爽やかなスミレのような香りが際立つチャ新品種 「ゆめすみか」

## [研究のねらい]

- ・静岡県の茶栽培面積のうち約90%を「やぶきた」が占めており、香味の画一化や摘採期の集中などが問題となっている。
- ・一方、消費者の嗜好が多様化しており、特に若い女性には花様の香りを好む傾向が見られる(図1)。
- ・当センターでは、若い女性の嗜好に合う**スミレのような甘い香り**を持つチャの新品種「**ゆめすみか**」を育成した。

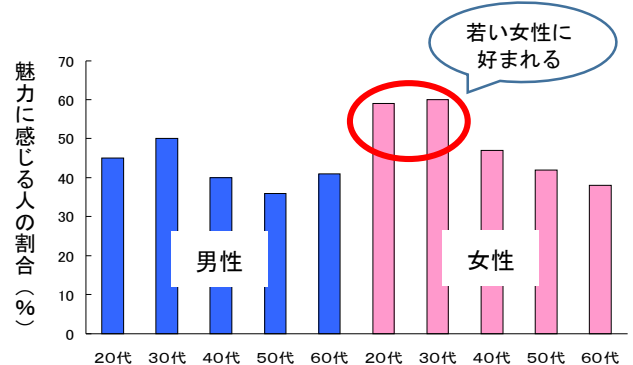


図1 花様の香りに対する嗜好※

※茶の開発コンセプトに対する評価

対象：静岡・東京1000人  
方法：インターネット  
新成長戦略研究調査(H23)

## [研究の成果]

### ○「香駿」を凌ぐ『香り緑茶』適性

- ・「ゆめすみか」は、萎凋(香り緑茶製法)により「爽やかなスミレや甘いクリームのような香り」が際立ち、香氣+滋味の評価点は、香りが特長の品種「香駿」を上回る(図2)。
- ・甘い香りを呈する香氣の主要8成分量(合計)は、一番茶では「香駿」より約1.4倍多い(図3)。
- ・試飲した消費者・茶業関係者からは、「スミレやジャスミンに似た花の香り」「爽やか」などの感想があった(図4)。

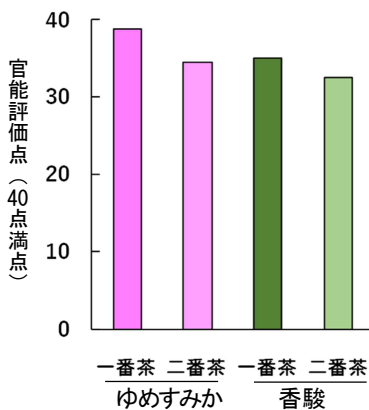


図2 香氣+滋味の官能評価点

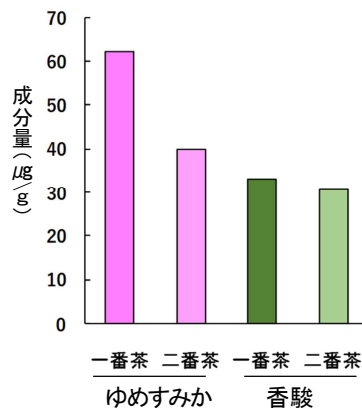


図3 香氣の主要8成分量

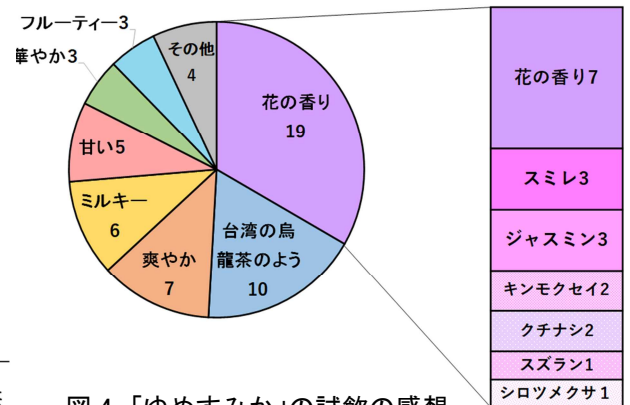


図4 「ゆめすみか」の試飲の感想

対象：オンラインセミナー(2023)受講者  
人数：33人(複数回答あり)

### ○来歴及びその他特性

- ・交配：種子親♀「するがわせ」×花粉親♂「きょうみどり」
- ・早晩性：中生(一番茶摘採期「やぶきた」比±0日)
- ・樹姿：やや直立/樹勢：強
- ・耐寒性：赤枯れ『強』
- ・耐病性：炭疽病『やや弱』、赤焼病『やや弱』
- ・耐虫性：クワシロカイガラムシ『やや弱』
- ・収量性：成木『多』
- ・品質：ほのかな桜葉のような香り、花香(普通煎茶)



図5 「ゆめすみか」の一番茶